

授業評価シート（授業づくり部会）

月 日	11月19日（木）	学 級	3年〇組	授業者	
教 科	数学科	単元名	平行線と線分の比	参観者	

論理的な思考を促すための手だて

- 線分の比の関係を類推させるために、具体的な三角形の辺を実測させる。
- 平行線をひくことに気付かせるために、2分前の取組のプリントの図を見直させる。
- 三角形の線分の比で出てきた線分の比と結論を比較させ、結論に結び付けるために必要な図形の性質を見つけさせる。

記入にあたって

本時の授業を参観されて、評価の欄に以下の4つからあてはまると思う数字を一つ記入してください。

【 4 よく見られた 3 見られた 2 あまり見られなかった 1 見られなかった 】

評価の理由として、具体的な場面・様子などの状況を記入してください。

I 「主体的な学び」に関して

生徒の姿	評価	具体的な場面・様子
【各教科共通・単元における姿】 単元の目標や本時のゴールの姿のイメージや活動の見通しをもって粘り強く本時のめあてを達成しようとしている。		
【本時における姿】 ・線分の比の関係の証明に必要な方法を考えるために、証明の方針を立てようとしている。		

II 「対話的な学び」に関して

生徒の姿	評価	具体的な場面・様子
【各教科共通・単元における姿】 自分の考えを他者に分かりやすく(根拠と理由付け)説明したり、友だちや先生などと話し合う中で様々な見方や考え方に気付いたりしている。		
【本時における姿】 ・証明の方針を説明し合う中で、自分の考えた方針を、他者へ筋道立てて説明したりしている。また他者の説明を聞いて、自分の考えた方針を修正したり、付加したりしている。		

III 「深い学び」に関して

生徒の姿	評価	具体的な場面・様子
【各教科共通・単元における姿】 既有的知識を関連付けたり、類推したりしながら(思考モデル)課題に対する自分の考えや新たな疑問をもっている。また、本時の学びを振り返り、次の課題(考えたいことや取り組みたいこと)をもっている。		
【本時における姿】 ・自分で立てた証明の方針をもとに、証明を記述しようとしている。		